

# 漆工芸専攻

数ある技法の中でも  
最高峰のものに取り組み、  
その奥深さを知る。

技術・技法の高さ、優雅で繊細かつ細やかな  
意匠で知られる京漆器。漆工芸専攻では「漆  
塗り」と「加飾」に大別し、2つを並行して学び  
ます。「漆塗り」では、下地づくり始まり、表  
面を滑らかにする研ぎ、上塗りなど複雑に分  
かれた工程を学び、「加飾」では京蒔絵と螺鈿  
を学習。3年次以降は、自由に造形できる「脱  
乾漆」という技法を用いての自由制作がスター  
トします。

Master one of the most sophisticated of all crafts,  
and explore its richness.

Kyo shikki (Kyoto lacquerware) is known for the refined skills and  
techniques employed, and for its elegant, subtle and delicate designs.  
The lacquerwork course is roughly divided into urushi nuri (application  
of coats of lacquer) and kashoku (decoration), which students take  
simultaneously.

In the urushi nuri classes, students learn the many steps involved in  
applying undercoats, polishing the surface smoothly, and applying the  
final coats.

In the kashoku classes, students master Kyo maki-e and raden  
techniques. From the third year, students create original works employ-  
ing the dakkanshitsu technique, which allows for the free creation of  
forms.

## Professor's Voice



大家 忠弘教授  
伝統工芸士・  
京の名工

漆は“麗し”が語源と言われるように、  
しっとりとした風合いで、唯一無二の光  
沢を放ちます。和の印象が強いですが、  
塗装できる素材もさまざまアクセサ  
リーやアートにも対応でき、可能性は無  
限です。TASKで技術を磨きながら、あ  
なたなりの自由な発想や表現方法で漆  
の新しい世界を切り拓いてください。



## Student's Voice

### 西村 璃奈

工芸コース 3年生/岐阜城北高校(岐阜県)出身  
工芸士2級

木地に補強し漆を塗ることができる状態にする  
生漆に砥粉と水を混ぜたサビを付ける作業は、  
器に合わせたヘラ作りや平ら・均一にサビ付けをする必要があり、  
私にとって特に難しい工程です。

そんな工程も、漆専攻の仲間とアドバイスしあったり、  
多様な経験をお持ちの先生方からの確なご指導をいただくことで克服。  
これからも、多く漆に触れてより技術を高めていきたいです。

## | 学びのポイント |

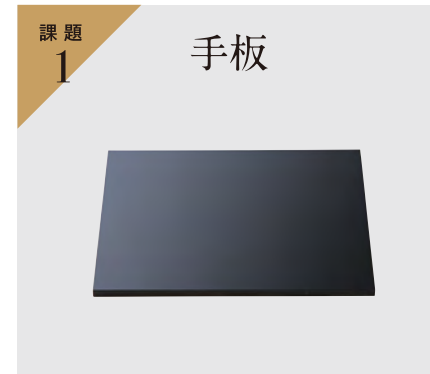
point  
01 京漆器の  
最高峰の技法である  
「本堅地呂色塗」を  
基本に学ぶ。

point  
02 下地づくりから研ぎ、  
上塗りなど  
30以上もある  
工程を丁寧に身につける。

point  
03 脱乾漆など多彩な  
表現方法を学び、  
漆器の新しい可能性に  
挑戦できる。

めざせる主な職業 漆芸家/塗師/蒔絵師/仏具職人/文化財修復士/体験教室インストラクター/学校教員 他

## | チャレンジする課題 |



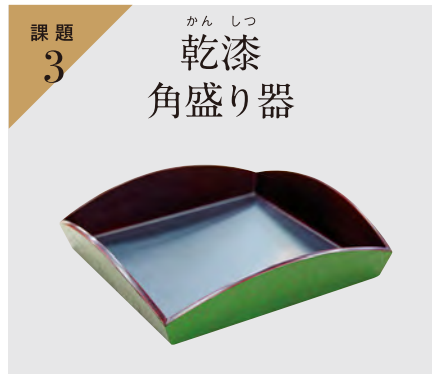
■ 30工程以上もある「本堅地呂色塗」という  
最高峰の技法を基本に学びます。これさえ  
覚えれば、どこの漆器の産地に行っても対  
応できます。

■ 木の板に布をはり、下地づけをして、塗り、  
呂色研ぎでツヤのある仕上げを施します。  
コツコツと根気よく磨き上げます。



■ 青海波など日本の伝統模様をはじめ、  
桜や紅葉など蒔絵を描く基礎練習をしま  
す。平蒔絵や高蒔絵の技法も学びます。

■ 研ぎや磨きの工程数が増え、より高度な  
技法になるので集中して、筆先まで気持  
ちを込めます。直線と曲線を丁寧に描き  
分けながら、筆遣いにも慣れていきます。



■ 乾漆とは、型を作って麻布などを貼り、  
漆を塗り重ねることで素地を形成したも  
の。軽くて丈夫なのが特長です。TASKで  
は角物、丸物どちらも学びます。



学生たちは自分に合ったペースで課題をこなしてい  
きます。また作業を行う実習室は広いスペースを確保。作  
品を保管する室(むろ)も設置。



塗り専用の実習室も完備、漆器の基本から応用技術ま  
で熟練の技術を持つ講師陣が指導します。



塗り以外にも、蒔絵や青貝・螺鈿などの漆工芸の加飾  
技法も学んでいきます。



# 蒔絵専攻

金や銀、螺鈿などで描かれる蒔絵。その最高峰の技法を学べるのは本校だけ。

金や銀によって、華やかだが華美ではなく繊細に描かれる京蒔絵の世界。漆を含ませた筆で紋様を描き、そこに金粉や銀粉を蒔いて定着させる蒔絵の技法である「平蒔絵」、「研出蒔絵」、「高蒔絵」や「青貝・螺鈿」といった加飾技法を基礎から学びます。また、「塗り」や「呂色研ぎ」、「箔押し」の技法も課題を通して習得。オリジナルのデザインを作品世界に生かします。

Master the pinnacle of maki-e, the art of decorating in gold, silver and mother-of-pearl by taking the one and only specialized course in the country.

Kyo maki-e (Kyoto maki-e) is the art of creating delicate gold and silver decoration that is luxurious, but never overpowering. Through this course, students master the very basic maki-e techniques of hira maki-e, togidashi maki-e, and taka maki-e, all of which involve applying patterns in lacquer with a brush, which are then finished by sprinkling and fixing gold and/or silver powder. Students also master the basic kashoku (decoration) techniques, such as aogai raden. In addition, students undertake projects that enable them to master the nuri, roirogigi and hakuoshi techniques, and create works featuring their own original designs.

## Professor's Voice



中川 寧子 講師

蒔絵は本来、分業された工程の加飾の部分ですが、本専攻では下地づくりから行い、すべて一人で行えるようにします。蒔絵は技法や材料の組み合わせで、覚えるほどに多彩な表現ができるようになります。無限の広がりを意識しながら技を身につけ、蒔絵の魅力を発信できる人になってください。

## Student's Voice

### 石関 華

工芸クリエイターコース 4年生/科学技術高校(静岡県)出身  
工芸士2級【井川メンパ大井屋 内定】

TASKでは土台作りから塗りまで学べ、ゼロから蒔絵を作り上げられる技術を身につけられます。また、蒔絵制作には繊細な感性も必要です。私は、園部の大自然や京都の美しい街に感動を覚え、常に感性を磨くよう意識しました。卒業後は地元静岡の指定郷土工芸品の工房で、長く愛され使われる工芸品を作ることが目標です。

## | 学びのポイント |

**point 01** 蒔絵の各技法の習得をベースに青貝・螺鈿などの加飾技法を学ぶ。

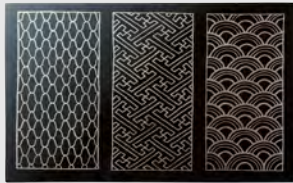
**point 02** 初歩的な図案を反復練習し、基本の技術やさまざまな表現方法を身につける。

**point 03** 漆塗りの表現方法を習得し、個性ある作品づくりを追究。

めざせる主な職業 漆芸家/蒔絵師/箔押し師/仏具職人/体験教室インストラクター/沈金師/文化財修復士/学校教員 他

## | チャレンジする課題 |

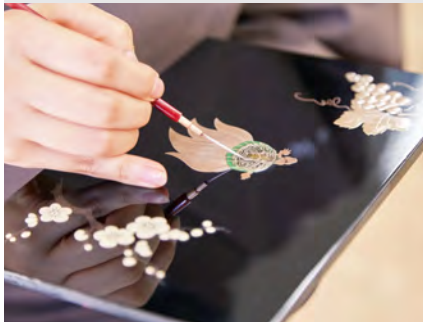
**課題 1** 蒔絵手板Ⅰ



■ 向かって左が網目紋様で曲線を、中央が紗綾形で直線を、右が青海波で線の太さを描き分ける練習をします。筆を手前に引いて描くという、独特の筆遣いに慣れていきます。

■ 初歩的な図柄ですが、最初はまっすぐな線を引くのも一苦労。小指を支えにして一点に固定。線の太さはもちろん、高さにも気をつけます。

**課題 2** 蒔絵手板Ⅱ



■ 亀や梅、ブドウなどの紋様を描き、研出蒔絵や高蒔絵、高台寺蒔絵などの技法を学びます。研ぎや磨きなど工程も増えるので、より高度になります。

■ 高台寺蒔絵とは、表面に漆を塗り、金や銀などの梨地粉をまき、その上に漆を塗って粉が露出しない程度に研ぎ破る特殊な技法です。

**課題 3** 肉合蒔絵



■ 銀粉や炭粉を用いて高上げし、研出蒔絵、平蒔絵と組み合わせることで立体感を出します。高上げは切り立つように、高さを保つように研ぎます。仕上がりの研出蒔絵とのつながりが、なだらかなるように研いでいきます。



蒔絵専攻では、加飾技法のみならず、下地づくりなど塗りの技術も身につけることができます。



TASKには多数の女性講師も在籍。蒔絵専攻では、きめ細かな加飾技法の指導も的確に行います。



加飾の煌びやかさは蒔絵の特徴。課題を繰り返しこなしていくことで、多彩な表現技法を習得していきます。



# 陶芸専攻

“土”が持つ大地の温もり。  
繊細な美しさと  
陶芸の持つ魅力は

京焼・清水焼の技法を基礎とした実習カリキュラムです。1年次および2年次は、〈ろくろ成形〉と〈絵付け〉の両方を基本から学習。3年次からは、各自のテーマに沿って制作する応用段階となります。さらに釉薬の基本から応用までを学びます。ろくろを使わずに成形する「手びねり」や「たたら」など、本校ならではの総合的な陶芸の技を伝授。各分野の専門家がきめ細かな指導を行います。

The attractiveness of pottery is the delicate beauty and warmth that we can feel from the pottery clay.

Our curriculum is based on the techniques for Kyo Pottery and Kiyomizu Pottery. During the first and second year, students will learn the basics of "wheel techniques" and "pottery painting." From the third year, students will advance to the application techniques level, where they will create their own pieces in line with their respective themes.

At the same time, they will learn the basics and applications of glazing. We will introduce a comprehensive pottery making method to students that is unique to our school, including "slab building" and "hand-forming" without using a potter's wheel. Specialists from each respective field will give detailed instruction to students.

## Professor's Voice



工藤 良健 教授

陶芸の技術は大きく分けると「形を作る技術」と「加飾の技術」の二つがあります。TASKではそのどちらも基礎から学ぶことができます。身につけた技を職人として生かすか、作家としてか、陶芸教室の先生としてか。それは本人次第ですが、陶芸のプロとして活躍したい人は一緒にがんばりましょう。

## Student's Voice

### 新倉 萌乃

工芸クリエイターコース 2年生/サレジオ工業高等専門学校(神奈川県)出身  
工芸士3級

TASKのオープンキャンパスで授業の80%が実習・演習であり、陶芸を一から学べると知り入学を決めました。

先生方と自分の作品はどこが違うのかなど、先生の作品を常に意識して技術を高めています。

他専攻の学生との共同作業では、各専攻の技術などを学べ、新しい作品を生み出すことができました。

## | 学びのポイント |

**point 01** 「器」から「立体作品」まで、ろくろ成形と絵付けの両方を基礎から学べる。

**point 02** 一人一台の電動ろくろに絵付け台、計6基の電気窯など、実習環境が充実。

**point 03** 一流の工芸士である講師から釉薬も専門的に学べる。

めざせる主な職業

陶芸家/ろくろ師/絵付師/陶器デザイナー/陶芸教室インストラクター/技術指導員/学校教員 他

## | チャレンジする課題 |

### ろくろ

課題 1

#### 煎茶碗



- 自然に広がる理にかなった形の器。最初の課題として、道具作りから取り組みます。
- ろくろ成形の基本中の基本である「バイ挽き」。同じ大きさ、同じ形のものをたくさん作れるように練習します。1日に100個制作することも。ろくろの基本動作を体で覚えます。

課題 2

#### 一輪挿し



- 丸みと高さのある一輪挿しは、徳利や花瓶などにつながる袋物の基本形です。スーッと引き上げてキレイに伸ばしていくイメージです。
- 柄ゴテで下をふくらませて腰を張り、上は口をすぼめていきます。複雑な造形なので難易度が高い技法です。

課題 3

#### 急須



- 胴体、蓋、持ち手、注ぎ口の4つのパーツを別々に制作する急須。日本独特の形で、さまざまな技法を駆使した最終課題です。
- 単に作るだけでなく、接着して組み立てるなど、段取りを考える訓練にもなります。口の高さと胴体の高さ、取っ手の角度などバランスを取るのがポイントです。

### 絵付け

課題 1

#### 下絵付け



- 素焼きをした器に絵付けをします。まったくのフリーハンドなので、最初はまっすぐな線を引くことも難しいです。
- これは呉須という美しい発色の藍色の顔料です。ムラがないように色を統一し、最初は紙に図案を描き出して練習します。

課題 2

#### 上絵付けⅠ



- 京焼・清水焼の特長は、鮮やかな色彩の紋様・モチーフにあります。和絵の具の場合、色を盛る、盛りながら伸ばしていくという感覚も学びます。
- 花は花らしく、木は木らしい形、筆の強弱、色の濃淡……。さまざまな課題をこなしながら多彩な技法を身につけていきます。

課題 3

#### 上絵付けⅡ



- より複雑な絵付けに挑戦。焼き上がりをイメージしながら色を作ります。濃度・粘りなどの調整も重要です。洋絵の具の場合は、金・銀の使い方がポイント。豪華な感じに仕上がります。
- 絵柄によって和・洋絵の具を使い分けます。最高の技法を指導しているので、どんな産地の焼き物であっても困りません。

### 手びねり

手びねりはろくろにまさる形の自由度がある手法。TASKはその手びねりを本格的に学べる数少ない学校です。基礎を習得した後は、たたら、ひもづくりなど多彩な手びねりの手法も学びます。



### 焼成

陶器は基本的に焼成することで完成します。校内には合計6基の電気窯が用意され「素焼き」や「本焼き」を通して、窯づめ実習や焼成実習を体験。またレンジで作った窯による楽焼実習も行います。



### 釉薬

陶芸の魅力を語る上で欠かせない釉薬。素焼きした素地の上に液状のうわぐすりをかけて焼くことで、表面にガラス質の皮膜を作り、色を出します。TASKでは専用実習室を設けて、1年次から練習を行います。





# 木彫刻専攻

立体を自在に創り出す  
技を身につけ、  
感性を生かす創作へ。

木彫刻で学ぶ技法の基本。それは、和室の天井とふすまの間にある欄間彫刻のように、平面の中に立体感をもたせた彫り方です。立体的なつながりをもつ曲線が、多様な世界観を生み出します。2年次までは木や刃物の特性など一通りの基礎を習得。3年次以降は自由制作を中心に、伝統工芸に限らず、立体彫刻のさまざまな表現スタイルに挑みます。

Acquiring techniques to create three-dimensional wood sculptures, creating artwork containing your aesthetic sense.

The foundation for learning wood carving techniques is the technique that allows an object to have a three-dimensional effect on a plane surface, such as an object like a transom that divides the ceiling and sliding doors in a Japanese-style room. Curved lines, connected to each other in a three dimensional fashion, create a world with diverse elements.

In the first and second years, students will learn about the overall basics, including the characteristics of wood and tools. From the third year, the students will focus on their independent works, challenging various expressive styles of 3D carving that are not limited to traditional methods.

## Professor's Voice



渡邊 宗男 教授  
伝統工芸士・京の名工

木彫刻の技術を身につけるうえで大切なのは、目に止まったものを造形できるように、日頃から物事を注意深く観察すること。そして絵心と美的感覚を養うことです。刃物を使いますが、扱い方から教えるので、鉛筆を削ったことのない人でも心配無用。ものを作りあげる喜びを仲間とともに味わいましょう。

## Student's Voice

### 池田 光希

工芸コース 3年生/有田工業高校(佐賀県)出身

木彫刻専攻では興味のあることなら何でも挑戦できます。

カンナや刃物研ぎ、さらには刃物作りまで学べ、先生との距離も近く相談しやすい環境です。

今は、課題以外にも多くの作品を作って技術を高めながら、

京都伝統工芸館での学生の実演にも積極的に参加。

お客様からお話や感想などを伺い参考にしています。

## | 学びのポイント |

point 01 壊れにくい図案づくりと図案から立体をイメージする力を身につける。

point 02 100種類以上の道具を使い分け、手入れの仕方までも習得する。

point 03 デザインの知識や感性の幅を広げ、木彫刻の新たな可能性を追究する。

めざせる主な職業

彫刻家/仏具職人/宮大工/文化財修復士/版画家/人形師/体験教室インストラクター/技能指導員/学校教員 他

## | チャレンジする課題 |

課題 1

花 菱



■まずは彫刻刀の使い方を覚えるために、ごく簡単な紋様のレリーフを彫っていきます。

■花菱というのは、この木に彫ってある紋様の名前です。繊細な柄なので、木の目に沿って彫ることが大切。安定して同じ深さに彫れるよう、刃物もきちんと研いでおきます。

課題 2

唐 草



■糸ノコで透かし、叩きノミで粗彫りします。その後仕上げていく過程の中で、奥行きを出したり、より高度なノミ使いを学んでいきます。

■出だしから終わりまで、線がずっとつながっていくような見せ方に気をつけて彫り進めます。葉っぱの流れるようなつながりがしっかり出ないと、形にならないからです。

課題 3

まる びたい 額



■より一層、複雑さが増す造形なので、ノミや彫刻刀など道具の種類も使い方も多彩になります。

■もともとは薄い板なので、立体的に奥行きや高さを見せるのは難題です。透かし彫りの技法をマスターしながら、彩色がしやすい加工など、次の工程にも配慮します。



考えた図案を絵にすることは非常に大切。その絵を元にして彫り出していきます。粘土なども用いて形を確認しながら彫り進めます。



実習室は広く、同じフロアに学生ごとに分かれて作業を行います。講師だけでなく上級学年の先輩からアドバイスをもらったり、技術を見せてもらうことも可能です。



基礎の課題は平面や半立体の彫刻が多いですが、自由制作や卒業・修了制作では立体物を彫ることもできます。その場合も粗彫りから慎重に進めていきます。



# 仏像彫刻専攻

全国でも最高レベルの  
技術を誇る  
京都の仏像彫刻を学ぶ。

実習授業は基礎から段階的に学習。徐々に技法をレベルアップさせながら、総合工芸である仏像彫刻の課題に取り組みます。3年次以降は、応用段階として学生が各自で彫刻したい仏像を決め、技法的にもより高度なものにチャレンジ。技術はもちろん、作り手としての姿勢や、長い歴史で培われた精神などをトータルに学び、身につけていきます。

Learning the carving methods for creating the Buddhist statues of Kyoto, which reflect the highest level techniques in Japan.

Students will learn the necessary skills step by step, starting with the basics in the practice classes. Gradually enhancing their techniques, students will participate in Buddhist statue carving, which is one of the integrated arts. From the third year, as one of the steps of the application techniques level, each student will decide what type of Buddhist statue they wish to carve, and will challenge themselves with more advanced techniques. Students will acquire an attitude as a creator and learn the spirit behind Buddhist statue carving, which has been cultivated over its long history.

## Professor's Voice



齋藤 澄観 講師  
伝統工芸士

静けさや落ち着きなど、人を惹きつける仏様の力を感じながら作品を制作するのが仏像彫刻師の魅力です。この専攻では教室を工房と考えて、仏像彫刻の技術だけでなく、総合的な人間力を高めていきます。弟子修行では味わえない学生生活を体験しながら、仲間と一緒に成長しましょう。

## Student's Voice

### 音 政吾

工芸コース 4年生/小松工業高校(石川県)出身  
工芸士2級【有限会社 音政石材 内定】

仏像の豊かな表現を実際に彫ることで、より深く知ることができます。

苦勞するのは、平面の資料から読み取った情報を、

仏像や人体の構造を踏まえて頭の中で立体化させながら彫ること。

先生から助言をいただいたり、反復練習やサイズを小さくして

改めて彫るなど、工夫を重ねながら改善することを大切にしています。

## | 学びのポイント |

point 01 全国でも最高レベルである京都の仏像彫刻技法を学ぶ。

point 02 デッサンにも力を入れ、頭の中で立体をイメージできるようにする。

point 03 技術だけでなく、ものづくりに対する姿勢や精神を理解する。

めざせる主な職業 仏像彫刻師/彫刻家/仏具職人/文化財修復士/版画家/体験教室インストラクター/技術指導員/学校教員 他

## | チャレンジする課題 |



■ まずは彫刻刀に慣れることが目的です。さまざまな紋様を板に彫りながら、木の特性や刃物の使い方を習得していきます。

■ こうした紋様は実際に仏像の台座などにも使われるので、すべての基本になります。すべて直線でできているので、まっすぐな線を引くというよりも、刃物で立て込む感じです。



■ 図書館で資料を探し見本となる仏像を自分で決めます。写真を見たり、実物を見に行ったりしながら、頭の中で立体のイメージを固めていきます。

■ 最初は粗彫りです。あまり取りすぎると修正がきかなくなるので、どれくらい残せばいいのか気をつけます。難しい部分は講師がアドバイスを行います。



■ 学んだ基礎技術を用いて仏像・台座・光背を制作し組み立てます。

■ 見本となる仏像の前後左右の資料を集め、実物からの縮小なども考えながら、全体(仏像・台座・光背)を制作します。体の曲線やバランスなども注意しながら彫り進めていきます。



静かで落ち着いた雰囲気の中、厳肅に実習を行います。彫刻刀などの道具を使用するため、細心の注意を払いながら作業を行います。



仏像を彫る時に難しいのが体の曲線。注意して彫り進めますが、講師にアドバイスを仰ぐこともあります。



指導する講師は一流の仏師ですので、技術の指導だけでなく、心構えなどもアドバイスをします。



# 木工芸専攻

美しく細やかな  
京指物の技で生み出す  
家具やインテリア。

釘などを一切使わない指物の技が基本。ホゾと呼ばれる凸凹をつくり、それを組み合わせで板と板を接合します。1・2年次では、細やかな技が必要なさまざまな課題に取り組みながら、徐々にレベルアップ。3年次以降は京指物を中心に20種類以上もあるという組み手を使い分け、自由制作に挑戦する応用段階へ。木工家具・インテリアなど、学生の志向に合わせた個別指導も行います。

Furniture and interior decorations created with techniques for beautiful and elaborate Kyoto woodwork.

This course emphasizes the techniques for Kyoto-style woodwork joints, which do not use nails. Students will first make "tenons" (hozo) and connect boards by combining these joint parts. In the first and second years, students will gradually enhance their abilities while carrying out tasks, acquiring elaborate techniques. From the third year, students, focusing on Kyoto woodwork, will advance to the application techniques level, where they will master the use of more than 20 different types of joints, and create original pieces with their flexible ideas. We will also give individual guidance to each student, including advice in the fields of wooden furniture and interior decoration.

## Professor's Voice



建田 良策 特任教授

私たちの身の回りには多くの木工品があります。日本では、縄文時代あるいはそれ以前から人は木で物を作ってきました。この専攻では木工の長い歴史の中のさまざまな時代の技法や技術、それらの基本となる樹木や自然についての知識、考え方を研究し学びます。そして木で物を作ることを通して楽しさを深めていきましょう。

## Student's Voice

### 菊田 葵

工芸コース 4年生/安芸南高校(広島県)出身  
工芸士2級【株式会社 KOMA 内定】

SNSで京指物を制作する動画を見て、自分も作ってみたいとTASKのオープンキャンパスに参加。  
木の筆箱を作らせてもらい、もっと技術を身につけたいと入学しました。  
木工芸は気温や湿度などによって木の状態が変わるため、図面通りに作るのは難しいものの、思い描いていた作品に仕上げられると充実感がいっぱいになります。

## | 学びのポイント |

**point 01** 京指物の組み手のひとつである「蟻組」など、細やかな技を習得できる。

**point 02** 鋸、鉋、鑿などの手道具を使い、手作業の技術を学べる。

**point 03** 材木の調達から製材、組み立て、仕上げまで木工芸の工程を一貫して学ぶ。

めざせる主な職業 木工家/家具職人/椅子職人/指物師/家具デザイナー/宮大工/体験教室インストラクター/技術指導員/学校教員 他

## | チャレンジする課題 |

**課題 1** 組み手



■ 指物の技術でよく使われる組接ぎや留接ぎ、相欠接ぎ、ホゾ接ぎなど、代表的な組み手の基礎を身につけます。

■ 隙間なく、ピッタリ削るのが難しいので、刃物の研ぎ方も重要です。ものづくりにおいて、道具の手入れや仕込みの大切さも一緒に学びます。

**課題 2** 甲盛蓋箱



■ 組み手の技を使って、小箱を制作します。甲盛という、箱の蓋の上を盛り上げる技術も身につけます。蓋の内側もそのカーブに合わせて削っていくのがポイントです。

■ 3面をつなげるので、より高度に。蓋のはまり具合にも気を配ります。最後に塗装する漆で木が広がる分も計算してつくります。

**課題 3** 引き出し



■ 木と木の合わせ目に隙間がなく、スムーズに入っていく精度の高さがポイント。縦横はもちろん、奥行きまでぴったり合うように調整してつくります。

■ 引き出しの素材は柔らかい桐を使うので、余計に神経を使います。また、引き出しの底に空気の逃げ道を作ってあげることで、より開閉がスムーズになります。



実習室は広く、1人1台の作業台があります。また3・4年の実習室には旋盤ろくろがあり、挽物も体験できます。



木工芸の作業に鉋は必須の道具です。作りたいものやいろいろな部分の形状に応じて様々な種類の鉋があります。



自由制作は自分で製図した図面を元に作業を進めます。少しでもズレがあると全体が狂うため、図面に忠実に作業を行います。



# 金属工芸専攻

正確な技と発想力を磨き、  
金属を柔軟に  
デザインする。

溶かした金属を型に流して形づくる「鋳金」。金属を叩いて形をつくる「鍛金」。金属の板に鑿などで模様を彫る「彫金」など、金属工芸にはさまざまな技法があります。その素材も金、銀、銅、鉄など多彩です。1年次に通り幅広く学び、取り組むべき技法を見極めるため、各種技法を課題制作の中で習得。3年次以降は各自の方向性に沿って、自由制作に取り組みます。

Designing metalwork by acquiring precise techniques and developing imagination.

Casting is the process of pouring molten metal into a mold. Forging is the process of beating metal into a shape. Chasing is the process of carving a pattern onto a metal plate with tools including chisels. These are some of the various techniques involved in metal crafting. A variety of materials such as gold, silver, copper, and iron are used for metalwork.

Students will acquire general knowledge on a wide range of metal crafting during the first year, and then in order to size up which they should specialize in, students will acquire various techniques through practical training. From the third year, each student will create artwork with his or her own flexible ideas, according to their respective aim.

## Professor's Voice



中村 佳永 特任教授  
京の名工

数千年前の装飾が当時の姿で発見されるように、金属工芸は作品が何千年と残る可能性があります。また打てば鋳跡が残り、磨けば光る。自分の行ったことがすべて現れ、それが未来に受け継がれていくのは、本当に魅力的です。TASKで学び、ぜひ、その魅力を発信する人になってください。



## Student's Voice

### 関向 美沙希

工芸コース 3年生/秋田公立美術大学附属高等学院(秋田県)出身

地元の秋田銀線細工を知って

金属工芸を深く学びたいと思いTASKに入学しました。

実習では失敗することもあります、それも大切にしています。

失敗の原因を把握し、次に活かすことが重要だからです。

先生からの注意も大切な学びと考え、

ノートにしっかりと記入し、常に側に置いて実習を受けています。

これからも金属加工の技術をますます磨き、

将来は秋田銀線細工を広められる職人になれるよう頑張ります。

## | 学びのポイント |

point  
01 幅広い金属工芸の  
技法を習得。  
造形・デザイン力も  
同時に養う。

point  
02 各分野の  
専門家が揃った講師陣。  
追究したい技法を  
深く学べる。

point  
03 彫金や鍛金で使用する  
鑿や当て金などの  
道具作りも  
学ぶ。

### めざせる主な職業

彫金師/鋳起師/鍛金具職人/鍛冶師/文化財修復士/七宝デザイナー/アクセサリデザイナー/ジュエリーデザイナー/  
体験教室インストラクター/技術指導員/学校教員 他

## | 学びのステップ |

### 基礎技術

まずはさまざまな金属の特性を知ることからスタート。その後、金属を叩いて形を作る「鍛金」、鑿などで模様を彫る「彫金」などの課題に取り組みます。

### 応用技術

数多くの課題をこなすことで各技法をマスターし、その中から自分が取り組みたい技法を絞り込み、さらに徹底的に磨いていきます。

### 作品制作

自分の追究している技術と学んだ金属工芸の知識を活かし、最初から最後の仕上げまでをすべて自分の手で行います。



### 定型板



銅の定型板を型通りに糸ノコで切り、ヤスリで削るなど、金属の扱いに慣れていきます。金属を見る角度や姿勢など基礎的な細かい作業も習得します。

### 彫金



鑿を使って連続した模様や文字、線など、さまざまな模様にチャレンジ。装飾を施していく彫金の基本的な技法をマスターします。

### 鍛金



1枚の金属板から作ります。板を当て金にしっかり当てて叩き、伸ばすなど、継ぎ目無しで成形していく技術です。



# 竹工芸 専攻

暮らしに身近な竹工芸を  
洗練された技と感性で創作する。

弾力に富み、強度があり、乾湿にも強い竹。日本でも古くから利用されてきた素材で、バッグやファッションなどに応用できる竹の可能性は無限大。竹を細く割り、それを編んでカゴなどを作る「編組」、竹そのものの造形や肌合いを生かして制作する「丸竹加工」という2つの技法両方を学べるのは全国でも本校だけ。1・2年次は、これらを並行して学び、3年次以降は各自のアイデア・発想で制作する自由制作に進みます。2つの技法を学べるので就職先の幅が広がります。

## Creating bamboo crafts in our daily life with refined techniques and aesthetic sense.

In Japan too, it has been used as a material since ancient times. Bamboo, which has been used for a wide range of products, such as bags and other fashionable goods, has infinite potential. Bamboo is very elastic and strong, as well as resistant to dry and humid environments. Braiding is a technique that includes finely splitting bamboo, a material that has long been used in Japan, and braiding the splits into a basket or other item. The bamboo bending technique called "marutake kakou" is intended for the creation of pieces using the original shape and texture of bamboo. The Traditional Arts super college of Kyoto is the only place where students can learn both of those techniques. The main theme of this course is to learn these two techniques. During the first and second years, students will learn these two techniques at the same time, and from the third year, they will create their own bamboo works with their flexible ideas and inspiration. Since students can learn both of those techniques, they will have a wider choice of career path after graduation.

## Professor's Voice



石田 正一教授  
現代の名工・  
京の名工

約100種類もある竹の編み方から基本的なものを教えます。編み目が揃った竹工芸は美しく、存在感があります。演習では竹を割る材料作りからスタート。編む技術はもちろん、制作しようとする作品にどれくらいの竹幅や厚みが必要かを判断する感覚を身につけ、本格的な工芸士をめざしてください。

## Student's Voice

### 中谷 謙太

工芸コース 3年生/瀬戸田高校(広島県)出身  
工芸士2級【有限会社 竹松商店 内定】

実習で最も苦労したのが、竹の表面の皮を薄く剥ぐ「割りへぎ」です。竹工芸品の制作の基本であり、「割りへぎ」を身につけられるよう、一つひとつの工程を意識しながら作業をしています。TASKで学んだ技術や発想力などを生かして魅力ある作品を仕上げ、竹という素材の良さを多くの人に知ってもらいたいと思います。

## | 学びのポイント |

**point 01** 六ツ目編み、麻編み、  
網代編みなど、  
多種多様な「編組」の  
技術を習得。

**point 02** 素材の形を生かす  
「丸竹加工」では  
花器や茶道具、  
竹垣などを制作。

**point 03** 校内の演習林で  
実地研修を行い、  
素材の特性を  
知る。

めざせる主な職業 竹工芸作家/竹細工職人/竹材加工/雑貨デザイナー/照明デザイナー/体験教室インストラクター/技術指導員 他

## | チャレンジする課題 |

### 編組

課題  
1

#### 六ツ目編かご



■ 竹を編み上げてカゴなどを作る「編組」は材料作りからスタート。むらなく剥ぐことが大切です。

課題  
2

#### 網代バッグ



■ 高度な編みの手法。作り手の感覚を生かしながら、いろいろな編み方を組み合わせて作品を作ります。

課題  
3

#### 花かご

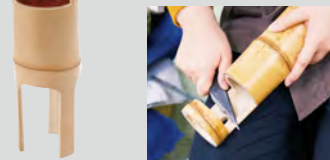


■ 網代底から立ち上げ、松葉編み、縄目編みなど習得した編み方を駆使。さら縁でなめらかな曲線に。

### 丸竹加工

課題  
1

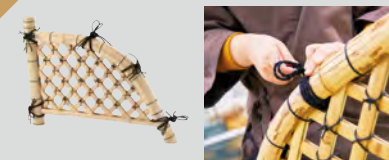
#### 花器



■ 花器などの筒物は小刀の切れ味が大切。シンプルすぎて隠せないで、寸法や形も丁寧に確認します。

課題  
2

#### 竹垣



■ 竹を割り、曲げるなど力がある竹垣。通称「男結び」や「花結び」でゆるみがなく、美しく結びます。

課題  
3

#### 鼓椅子



■ 楽器の鼓の形をしていることから鼓椅子と呼びます。中央を絞ることで強度をアップ、100kgの重さに耐えるようにすることも可能です。

## PROJECT

### 竹工芸専攻 校外研修 —大徳寺 僧堂の竹林にて—



2021年1月13日、大徳様のご厚意により、一般には公開されていない僧堂の竹林に竹工芸専攻の学生たちが特別に入らせていただき、竹の切り出し実習を行いました。茶道との関わりが深い大徳寺の僧堂の竹で作られた茶道具は特に価値の高いものとなります。現在、切り出した竹は逆さに立てて「水抜き」をしており、3月初めに油抜きを行った後、天日干しを約1ヶ月間行い、室内で4年かけてじっくり寝かせ、3年生の課題である茶道具の制作のための材料となります。



# 京手描友禪 専攻

華麗で緻密な世界観に魅了される  
京手描友禪のすべてを学ぶ。

江戸時代初期に活躍した扇子絵師、宮崎友禅斎を祖とする京手描友禪。生地の上に糊を置いて防染する糸目糊置という独自の染色技法や、輪郭や細部の線描写を豊かに表現した模様絵などが特長です。1・2年次は各工程を学んだうえで「染帯」を制作。3年次からは「訪問着」を制作します。京手描友禪の技術は、下絵、糊置、引染め、挿友禪など分業制ですが、本校では一連の工程を指導し、デザインスキルを併せ持った業界の担い手を育成します。

Learn everything about the enthralling world of luxurious and elaborate Kyoto-tegaki-yuzen.

Kyoto-tegaki-yuzen, which was first created in the early Edo period by Miyazaki Yuzensai, a popular painter of folding fans in those times, is characterized by various unique techniques such as itome-norioki, a technique of applying starch paste to the fabric to prevent it from being dyed, as well as the rich expression of outlines and detailed lines in patterns painted on the fabric. Students can learn how to create some obi by studying each process from the first to the second year. They can learn how to create homongi from the third year. Each process in creating Kyoto-tegaki-yuzen, such as shitae (design drawing), norioki (applying starch), irosashi (dyeing) and shiage (finishing), is carried out by separate craftsmen. We offer training in all of these skills to develop future craftsmen with excellent design skills.

## Professor's Voice



木戸 源生 講師  
伝統工芸士・京の名工

これまでは友禪と言えば着物や帯でした。しかし、これからは既成概念にとらわれることなく、新しいものを作り、可能性を広げていけばよいと思います。その一方で友禪という伝統工芸を通じて、手で作ることの良さ、そして日本の文化の良さを知り、広く伝えられる人になってほしいです。

## Student's Voice

### 中村 佳緒理

工芸コース 3年生/光明学園 相模原高校(神奈川県)出身

京手描友禪は、デザインから配色までを自分好みにしながら、伝統技法を用いた世界に一つだけの着物や帯を作れるのが、とても魅力的です。

身につける技術も工程によって異なり、

下絵の作業から後の金彩まで全ての作業が後につながっていくため、どの工程も慎重かつ丁寧に進めることが大切だと日々感じています。

## | 学びのポイント |

**point 01** 京都手描友禪協同組合・京都府の全面的なバックアップのもと、一流の工芸士が指導。

**point 02** 下絵から糊置、引染め、挿友禪、金彩までのすべての制作工程を総合的に学べる。

**point 03** 学内での実習以外にも京都市内の工房で手仕事に触れることができる。

めざせる主な職業 染色家/着物デザイナー/手描友禪職人/染色加工職人/金彩職人/商品企画/ 体験教室インストラクター 他

## | チャレンジする課題 |

課題1

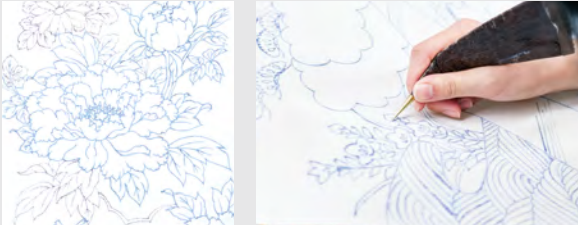
下絵



- 意匠図案にもとづいて下絵を描きます。構図に絵師の鋭い感覚が要求される工程です。
- 水で洗うと落ちる「青花液<sup>あわばなえき</sup>」を使います。つゆ草など天然ものと化学合成のものがあります。

課題2

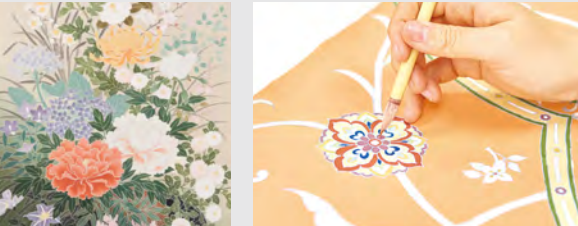
糊置<sup>のりおき</sup>



- 染料がにじまないよう、下絵に沿って糸目糊を置いていきます。絞り出すように糊を引きます。
- 約束事をすべて心得、下絵のよさを引き出し、不十分なところを捕える絵心と力量が必要です。

課題3

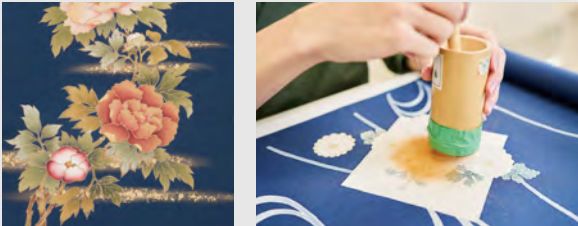
挿友禪<sup>さし</sup>



- 薄い色から濃い色へ。筆と刷毛を駆使して、糸目防染された模様の部分に色を挿していきます。
- 友禪の美しさの決め手は「胡粉」という染料に挿す「白」。胡粉ぼかしをいかに上手くできるかが腕の見せ所です。

課題4

金彩<sup>きんさい</sup>



- 金・銀の箔を用いた豪華な装飾。金くくりや押し箔、切箔、摺箔、砂子などの繊細な技術で京友禪ならではの美しさを表現します。
- 友禪を華やかに盛り上げるのが金彩と刺繍。京都の金彩は、金沢の金箔を使い雅やかで品格のある世界を表現します。



京手描友禪は分業によって制作するため、各制作工程はその分野の講師が専門的に指導します。



金彩による煌びやかな装飾も京手描友禪の特徴です。また、京手描友禪の技術を用いて着物以外の制作を行うこともあります。



京手描友禪の各種の工程にも対応できる特注の作業机を一人1台配置しています。



# 和紙工芸 専攻

素材作りから紙漉きや加工まで。  
すべてを学び、作品づくりに生かす。

「日本の手漉和紙技術」がユネスコ無形文化遺産に登録されるなど、世界からも注目される和紙。本校では、京都府の無形文化財「黒谷和紙」の技法を基本に、楮という種類の植物を育て、その木の皮を削り、煮て、繊維をたたきつぶして水に溶かし紙漉きの原料を作ることからはじめ、1年次は「紙漉き」の基礎を反復練習で身につけます。2年次はもみや染めなどの加工技術、3年次以降はさらに技術を深めた作品制作に取り組みます。

Learning everything and using everything you learned —  
From creating materials to processing them for artwork.

As exemplified by "Washi craftsmanship of traditional Japanese handmade paper" being added to UNESCO's Intangible Cultural Heritage List, washi (Japanese paper) is drawing attention from people around the world. At this school, you can learn the skills to make traditional "Kurotani-washi" paper, which was selected as a Kyoto Prefectural intangible cultural property. The basis of this course is the technique for Kurotani washi (Japanese paper), and TASK provides an opportunity to start from a paper making process that includes growing a plant called "kozo" (Broussonetia papyrifera), shaving and boiling the bark, crushing the fibers and dissolving them in water. During the first year, students will acquire the basics of various techniques for "paper skimming" through repeated training. From the second year, they will learn crinkling and dyeing techniques, and from the third year, they will create their own artwork using hand-made paper processed by further sophisticated techniques.

## Professors' Voices



林 伸次 特任教授

京もの認定工芸士

800年以上の伝統を受け継ぐ京都府の無形文化財「黒谷和紙」。その現役職人が技術を直接教えるのが

TASKの最大の特徴です。素材づくりから紙漉き、そして「切る」「折る」「貼る」の作業を経て、袋や名刺入れなど立体的な作品になるまで、実習がダイナミックに変化していくのも和紙工芸の魅力です。



畑野 渡 講師

京もの認定工芸士

和紙は現在使われている用途よりもっと広い可能性があります。例えば日本の昔の家は、木と紙と土ででき

ていて、それぞれが補い合えるポジションにいるということが面白い。また身の回りの素材が「表現=アート」ととらえることができるのも和紙工芸の魅力です。和紙の可能性を一層に追究していきます。



## Student's Voice

森本 奏

工芸コース 2年生/神戸高校(兵庫県)出身

職人でもあるTASKの先生方からは、授業で紙を漉くことから

その紙を使った日用品を作る加工技術まで、

細部にわたって丁寧にご指導いただけます。

学園祭では自分の和紙商品も販売しました。

紙漉きには多様な手順や方法がありますが、今は地元の工房でも

学びながら、技術を高めています。

## | 学びのポイント |

point 01 素材作りから紙漉き、加工まで和紙の制作工程のすべてを学べる。

point 02 800年続く京都府の無形文化財である黒谷和紙の技法を学ぶ。

point 03 イタリア・フランスからも評価が高く、加工する素材の可能性も無限大。多種多様な技術が身につけられる。

めざせる主な職業

和紙作家/手漉き職人/和紙デザイナー/雑貨デザイナー/照明デザイナー/体験教室インストラクター/技術指導員/学校教員 他

## | チャレンジする課題 |

課題1

原料づくり



■ 黒谷の和紙は主に楮こうぞを使います。木の皮を削り、大釜の湯に白皮にした楮こうぞの束を入れて煮ます。

■ 繊維を叩きつぶして水に溶かした中に、「とろろあおい」から抽出した粘りの強い液体を混ぜ入れて、紙漉きの原料の準備が完了します。

課題2

紙漉き

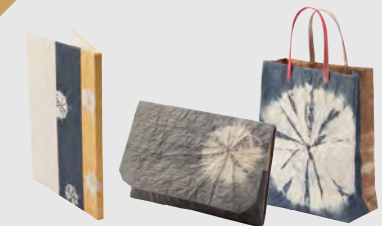


■ 「簀す笥げた」という道具を使って原料をくみ取り、繊維がよくからまるよう四方にゆすります。

■ なるべく厚みが均一になるように漉くのがポイント。厚さのムラがないほうが加工がしやすいからです。水は冷たいですが、手間をかけるほど愛着がわきます。

課題3

和紙加工



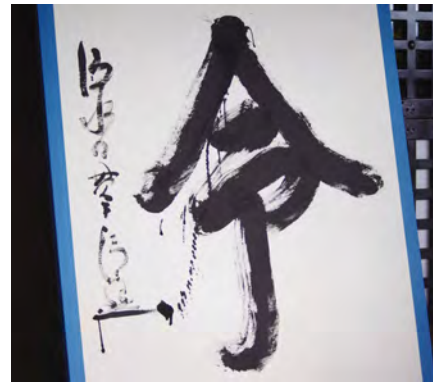
■ 手提げ袋やブックカバー、カード入れなど。和紙の強さと美しさを活かした多種多様な作品づくりができます。

■ 和紙の持つ温かみが、作品に豊かな表情を与えてくれます。柔軟性も和紙工芸の特長であり、魅力です。特殊なりを表面に塗って、毛羽立ちを抑えることで、より表面がなめらかになります。

## PROJECT

### 「今年の漢字」 和紙制作プロジェクト

和紙工芸専攻では、「今年の漢字」を発表するための和紙制作のプロジェクトに参加。授業で制作する和紙の6~8倍の大きな紙を制作しました。参加した学生は「自分たちが制作した和紙が清水寺様に奉納され、多くの皆さまに見ていただけることは大変うれしく思います。貴重な経験ができました」と語り、今後の制作活動への意欲がさらに高まったようでした。本校で制作した和紙は、2019年に引き続き、2020年も使用されました。



写真は2019年のもの